



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月13日

上場会社名 株式会社ロックオン 上場取引所 東
 コード番号 3690 URL http://www.lockon.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岩田 進
 問合せ先責任者 (役職名)広報・IR担当 (氏名)梶原 直樹 (TEL)06(4795)7500
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	682	—	134	—	136	—	87	—
26年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 87百万円(—%) 26年9月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	28.01	27.74
26年9月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、第2四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第2四半期の業績及び増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	1,062	893	84.2
26年9月期	1,029	806	78.4

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 893百万円 26年9月期 806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,545	13.6	350	40.4	350	49.9	203	47.5	32.44

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を予定しております。上記の1株当たり当期純利益は、当該株式分割が平成27年9月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期2Q	3,129,300株	26年9月期	3,117,300株
② 期末自己株式数	—	26年9月期	4,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3,129,300株	26年9月期2Q	2,851,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開しているインターネット広告の国内市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末をはじめとしたスマートデバイスや、動画広告の伸長に加えて、検索連動型広告に代表される運用型広告が引き続き高い成長を遂げました。「2014年（平成26年）日本の広告費」（株式会社電通調べ）によると平成26年のインターネット広告市場は1兆519億円（前年比12.1%増）と前年を上回る伸び率を示しております。

一方、当社グループが営む事業のもう一つの対面市場となるEC市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のECビジネス展開が加速しており、BtoC EC市場は拡大を続けております。

このような経営環境の下、当社グループは、「広告プラットフォーム事業」を収益成長促進事業、「商流プラットフォーム事業」を収益基盤事業と位置付け、これまでその育成に努めて参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は682,815千円、営業利益は134,577千円、経常利益は136,310千円、四半期純利益は87,645千円となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりとなりました。

① 広告プラットフォーム事業

当事業はインターネット広告効果測定システム「AD EBiS」及び国産リスティング広告運用プラットフォーム「THREe」で構成されます。

当事業においては、「AD EBiS」をマーケティングプラットフォームへと進化させる他社データ連携を推進し、また、レポートサービス開始など高収益サービスへのリソース投下に努めました。その結果、売上高は445,233千円、営業利益は77,784千円となりました。

② 商流プラットフォーム事業

当事業はECオープンプラットフォームである「EC-CUBE」及びECサイト構築の受託開発を行うサービスである「SOLUTION」で構成されます。

当事業においては、DMP(データ・マネジメント・プラットフォーム)構築案件をリリースし、広告プラットフォーム事業と商流プラットフォーム事業のシナジーを高めるサービス連携を推進しました。その結果、売上高は237,582千円、営業利益は56,792千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ33,043千円増加し、1,062,137千円となりました。主な要因は、売掛金が21,060千円、前払費用が10,070千円増加したことによります。負債については、前連結会計年度末と比べ54,507千円減少し、168,192千円となりました。これは主に、未払法人税等が支払等により41,740千円減少したことによります。純資産については、四半期純利益87,645千円の計上等により、前連結会計年度末から87,550千円増加し、893,944千円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9,706千円増加し666,000千円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローについては、14,644千円の収入となりました。これは主に、法人税等の支払85,993千円や売上債権の増加21,060千円があったものの、税金等調整前四半期純利益136,310千円を計上したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローについては、5,195千円の支出となりました。これは、主にサーバ設備等の有形固定資産の取得による支出4,084千円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローについては、3千円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期連結業績予想につきましては、平成26年11月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,293	666,000
売掛金	199,863	220,924
仕掛品	—	316
前払費用	12,062	22,132
繰延税金資産	13,125	9,115
その他	2,385	2,686
貸倒引当金	△1,410	△860
流動資産合計	882,320	920,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,791	34,791
減価償却累計額	△24,286	△25,577
建物及び構築物(純額)	10,504	9,214
工具、器具及び備品	149,353	137,710
減価償却累計額	△115,476	△107,637
工具、器具及び備品(純額)	33,876	30,073
有形固定資産合計	44,381	39,287
無形固定資産		
ソフトウェア	6,815	5,839
その他	46	46
無形固定資産合計	6,861	5,886
投資その他の資産		
投資有価証券	7,938	7,938
繰延税金資産	2,392	1,991
差入保証金	64,701	65,197
保険積立金	16,479	17,577
その他	4,932	4,076
貸倒引当金	△914	△134
投資その他の資産合計	95,530	96,648
固定資産合計	146,773	141,821
資産合計	1,029,094	1,062,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,024	17,618
未払金	80,251	69,363
未払法人税等	88,740	47,000
預り金	16,343	15,294
賞与引当金	17,400	16,200
その他	3,939	2,716
流動負債合計	222,700	168,192
負債合計	222,700	168,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,202	268,730
新株式申込証拠金	1,044	—
資本剰余金	258,192	258,708
利益剰余金	279,365	366,993
自己株式	△383	—
自己株式申込証拠金	261	—
株主資本合計	806,682	894,432
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△288	△488
その他の包括利益累計額合計	△288	△488
純資産合計	806,394	893,944
負債純資産合計	1,029,094	1,062,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	682,815
売上原価	232,968
売上総利益	449,847
販売費及び一般管理費	315,270
営業利益	134,577
営業外収益	
講演料等収入	682
為替差益	35
受取家賃	828
その他	294
営業外収益合計	1,840
営業外費用	
株式交付費	107
営業外費用合計	107
経常利益	136,310
税金等調整前四半期純利益	136,310
法人税、住民税及び事業税	44,253
法人税等調整額	4,411
法人税等合計	48,665
少数株主損益調整前四半期純利益	87,645
四半期純利益	87,645

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,645
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△199
その他の包括利益合計	△199
四半期包括利益	87,445
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	87,445
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	136,310
減価償却費	10,823
受取利息及び受取配当金	△66
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,060
前払費用の増減額 (△は増加)	△10,067
未払金の増減額 (△は減少)	△11,415
その他	△3,952
小計	100,571
利息及び配当金の受取額	66
法人税等の支払額	△85,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,644
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,084
差入保証金の差入による支出	△1,050
その他	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	
その他	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3
現金及び現金同等物に係る換算差額	260
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,706
現金及び現金同等物の期首残高	656,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	666,000

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	広告プラット フォーム	商流プラット フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	445,233	237,582	682,815	—	682,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	445,233	237,582	682,815	—	682,815
セグメント利益	77,784	56,792	134,577	—	134,577

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、平成27年4月14日開催の取締役会において、株式分割することを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることで、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的として株式分割を実施いたします。

2. 株式分割の割合

平成27年6月1日付をもって、平成27年5月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

3. 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数 3,129,300株

株式分割により増加する株式数 3,129,300株

株式分割後の発行済株式総数 6,258,600株

株式分割後の発行可能株式総数 22,800,000株

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	14.00
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額(円)	13.87